

第4回を迎えた「芸能文化祭」のテーマは、「音と踊り」です。良好な自然環境が残されているホテル水路から1匹のホテルカ飛び出して、減少していく島の芸能やことは、受け継ぐ人が少なくなりつつある島の文化を継承しようと、物語風に島の踊りなどを紹介していきます。

人から人へと渡り、時代の流れによって変わってきた地域の伝統文化を継承し、進化し続けることに挑戦しようという舞台です。誘い合って、「おじゃれ」ホールにおいでください。

- 公演日 平成28年9月18日(日)午後7時から9時
- 会場 八丈町多目的ホール「おじゃれ」
- 入場料 大人700円(前売り500円)、子ども200円(前売り100円) 文化協会(三根)、観光協会(大賀郷)、富次朗商店(榎立)で販売しています。



〔昨年のスナップ〕

## 文京区民オーケストラ70名が来島し演奏 9月24日、おじゃれでオーケストラをバックに唄いませんか。

9月に八丈島では初と思われる約70名編成の本格的なオーケストラ演奏が、「おじゃれホール」鑑賞できることになりました。

今春、町立病院の渡辺医師から文化協会に「私も文京区民オーケストラの団員だが、今秋八丈島公演をしたいと準備している。ご協力いただけないか」とのホットな嬉しいニュースが舞い込んできました。協会では、早速会長を中心に協力体制を組み、関係機関との折衝なども行なってきました。

八丈町も教育委員会も大歓迎で、9月23日(金)は、小中学生の音楽教室を開催します。24日(土)は、町民向けのコンサートを行います。入場料は同楽団がもつので無料公演です。

文京区民オーケストラは、アマチュアですが東京芸術大学副学長の指揮で海外演奏公演も行なっている本格的楽団です。団員は約80名です。

演奏会では、團伊玖磨さんの曲や八丈町歌を島民合唱団とともに唄います。フルオーケストラをバックに唄いませんか。是非とも、気楽に文化協会へお申し込み下さい。



# 八丈島文化協会 会報 第13号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833  
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: [bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp](mailto:bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp)

2016年7月5日

## 文化協会第5回総会終わる

設立5年目の文化協会。地域での日常活動を強め、文化振興に向け、豊かな人材づくり、財政確立を目指します。  
文化協会会長 内山江差夫

5月31日第5回目の総会を終えることができました。総会の議決を受けて新たな平成28年度の文化活動が始まりました。総会には、会員の他多くの行政、町議、関係機関のご来賓が駆け付けて下さり、文化協会の活動の拡がりを垣間見る総会となりました。多くの皆さんにお礼と感謝を申し上げます。

文化協会は、まだ歩みだして5年目。やっと保育園児に認められたような幼少期ですが、文化協会の取り得である「地域での日常活動」の中で、協会への期待や島でやる活動の多さを、皆さんとの関わりの中で気付かされています。皆さんの率直なご意見や激励は、とてもありがたく感謝しています。

切実な多くの要請に応える協会独自の組織体制は、まだまだ脆弱で直さなければならぬことばかりですが、理事と監事を中心に日常活動を積み重ねながら、少しずつ少しずつ強くしていきたいと頑張っていきます。

文化協会設立当初からの大きな目標である『島の文化振興と文化協会の強化を担う豊かな人材づくり』と『文化協会の自立と、豊かな活動ができるような財政的裏付け』に、特段の努力を傾けていきたいと思えます。

そして、理事と会員が一丸となって『地域の文化活動は文化協会が』が、伝統的合言葉になるような取り組みを目指していきます。どうか、倍日のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

**総会のようす** 議案書は事前に配布されており、当日配布された追加資料は、15年度決算書(印刷ミスがあり当日差替)、協会会員名簿、協会組織図、富士見地区公会堂利用料金表、FAX&メール通信、会報12号、映画「サンマとカタル」の紹介プリント。出席23人(34団体+13個人会員中)、委任状8通で、総会成立要件1/2(24名)をクリアし、総会は成立。別に賛助会員の出席1。役員・理事の欠席は15名中3名で、そのうち2名は飛行機の欠航によるものでした。監事は1名/2名の出席でした。

来賓は、持丸副町長、佐藤教育長、小川一、浅沼憲春、山本忠志、奥山幸子の各議員、茂手木教育委員、菊地体育協会会長、福田七島新聞記者で、副町長・教育長からご挨拶をいただきました。

経過報告、決算、方針案、予算、人事などの議案は、全て原案通り承認され、全体的にはスムーズに議事等が進行したと思います。以下に、特に話題になった点、質疑や意見が出た点について報告します。

- おじゃれ運営委員会と文化協会との関係は → JAZZ フェスが28年度共催事業となっているが、29年度は文化協会事業となる。おじゃれ運営委員会は、「おじゃれホール」の利用促進のために文化イベントなどを実施してきたが、今後は教育委員会の諮問機関に性格が変わっていく。
- 町の補助金事業について → 「見直しを町に求めています」となっているが、文化協会としては、町担当者の方に色々教えていただきながら、話し合いをしていくということである。
- 今年度の収入の手数料は、事務手数料として事業主催団体から2万円ずついただいている。事務的な事を協会としてやってもいる面もある。今年度は印刷物作成のコピー代は無料としていく(ポスターのカラー印刷などは有料)。



- 支出の人員費は、内容豊富な事業の割に少ないのではないのか。奉仕活動的に活動するだけでなく、町に要求していく事は考えないのか。
- 事務局員の規約上の位置づけはどうなっているのか。規約上の役員と理事会の名称が整合していないのではないのか。 → 事務局員は規約上存在する。整合性の問題は、来年度の総会で規約改正の提起をしていく予定である。
- 映画「サンマとカタル」の説明が体育協会会長の菊地庄一さんからあり、上映取り組みへの協力依頼がありました。

文協「リム」『南風』 VIII

■ 文化協会の第5回総会が終わった。大それたことをやるわけがないがホットしてこのときの安心感を感じる。これが何とも心地よい。スタッフ一杯の力が、帰りのことや、病気のことで少々がまんとしている。■ 協会には、40近い団体と15人ほどの個人会員、10数名の賛助会員がいる。協会組織も少しずつ大きくなり、これらの方々の支援や応援が協会の活動を盛り上げている。あがたいといつも思う。■ 会員団体の活動も活発で、独自のイベント発表会などの招待状も多く届くようになった。島内でも多様な芸術的イベントに出会える機会が増えてきている。■ 文化活動が増えていることは、富士見地区公会堂(文化協会が指定管理者として町から運営管理を受託)の利用実績からも推定できる。

■ 受託初年度の25年度を100とする、26年度144、27年度185と利用率がアップしている。毎年この調子で増えていくとすればバンクすると思われるが、ちたがまだ余裕がある。チョットした集まりに気軽に利用してほしい。■ 公会堂は365日休みがない。利用時間は9:00~22:00なので夜になることも多い。協会スタッフがやめるとして、ボランティアで対応している。財源がないので仕方ないが、パート料くらいはあげたいと切実に思うが、かなわぬ念願である。

■ けれども、踊りの発表会や煌びやかな華道展、ピアノ発表会、文化フェス等々、賑やかで元気な島民文化愛好者、若者男女のパフォーマンスを観ている、やる気と元気をいただけるのである。

(会長 内山江差夫)

## 第3回団体代表者会議開催・・・3団体から意見・要望など

平成27年度第3回団体代表者会議が4月15日、富士見地区公会堂で行われ、理事と3団体が参加して、意見交換や情報交換を行いました。三根公民館の建て替えに伴う練習場所の確保の難しさや、ホールを利用する際の技術者への謝礼の額をもう少し安価にできないか、などの話題が出ました。

「あびの美」第87回公演

## ジン・マサフスキーのサイレント・コメディ・マジック

2016年5月21日(土) 三根小学校・体育館 観客数約130

年に2回子供たちにナマの舞台を提供している「あびの美」。今回はマジックですが、手持ちの資料には「仕込み5時間、撤収2時間」。エー！一人でやるマジックに、何でこんなに時間がかかるわけ？ しかし、聞いて納得、見て納得、準備にたっぷりじっくり時間をかけた、種も仕掛けもあるはずの舞台で全編一人で演じられたサイレントなコメディータッチのマジックとは……

♥バントマイムでこあいさつ

シルクハットに自慢の口ひげ、お気に入りのステッキに白手袋、マジシャン“ジン・マサフスキー”登場

♥カードとボール、

マサフスキーさんの手から、口から次々と出てくるボール。出てくるたびに大きさが変わるトランプカード、最後は虫眼鏡でしか見えないくらいに小さくなり、そして消えてしまった……

♥はと？ ハト？ 鳩のマジック！！

本物のように見えても、あれは手で動かしているだけさ、と思ったら、本物の鳩に変わってびっくり。この鳩、お利口さんで移動の時も“クー”とも鳴かずケージに収まっていたよ。

♥マジシャンになろう！

観客が舞台上がってマジックに挑戦。手で空をつかみ、そのまま缶に投げ入れると、チャリオンという音と共にコインが貯まる。“いいな、いいな、アタシも、ボクも”。次に選ばれた女の子、舞台は一転して、イルミネーションの世界へ。「女の子の体が宙に浮いてしまった！！」と書いてはいても、マジックのおもしろさ、不思議さは、言葉などでは「ぜーんぜーん」伝わらないという、今回の公演でした。



## <今後のイベントなどの予定>

7月22日(金)～24日(土) 夏祭り 加盟団体のステージ出演もあり

8月20日(土) CHAMPION SELECTOR spin out in 八丈島

26日(金)、27日(土) 八丈島JAZZフェスティバル2016

9月10日(土)、11日(日) 第71回島民大学講座(首都大学と共催)

18日(日) 八丈島芸能文化祭

24日(土) 文京区民オーケストラ演奏会

## 八丈島JAZZフェスティバル2016

8月26日(金) 18:30～、27日(土) 18:00～ 「おじゃれ」ホール

「八丈島JAZZフェスティバル」は、八丈島の文化振興に努める文化協会と、「私たちの力で八丈島を盛り上げたい」と

地元を愛する子どもたちによって昨年結成した「CJJP: Children Jazz Project (子ども運営委員会)」と共に創り上げる音楽イベントです。

CJJPはメンバーが増え、昨年と同様にチラシのデザインの検討や出演者の衣装となるTシャツの制作および島内での宣伝活動などを行っています。昨年の活動で、自分たちが出演しているだけでは分からなかった、イベントを成功させるまでの過程での苦労や多くの人の努力を目の当たりにしました。その経験を踏まえ、今年もCJJPの子供たちは、JAZZフェスの魅力を多くの人に伝え、味わってみたいと奮闘中です。

8月26日(金) 17:30 開場/18:30 開演

<入場>前売券:3,500円(当日券:4,000円)/高校生以下:1,500円

<出演>福井ともみ(Pf), 俵山昌之(B), 藤井 学(Ds), 高瀬龍一(Tp), 上石 統(Tp)

片岡雄三(Tb), 米田裕也(A.Sax), 辻野進輔(T.Sax), 宮崎達也(B.Sax)

※音楽業界の第一線で活躍されているプロ・ステージです。フードとドリンクを召し上がりながら、ライブハウス感覚でジャズをお楽しみいただけます。

8月27日(土) 17:30 開場/18:00 開演

<入場>無料

<出演>八丈高校吹奏楽部, 富士中吹奏楽部, 三原中音楽部, 大賀郷中音楽部

八丈ジュニアアンサンブル(小学生有志)

<ゲスト>開成ジュニアアンサンブル“ブルーバース”(小学生ビッグバンド・神奈川県)

福井ともみ(Pf), 高瀬龍一(Tp), 宮崎達也(Sax)

※CJJPによる演出で繰り広げられるアマチュア・ステージです。今回、島外から招く小学生ビッグバンドは、今年1月に行われた第25回スチューデントジャズフェスティバル東日本大会で最高賞を受賞した実力派です。また、地元の子どもたちが日頃の練習の成果を披露する他、社会人吹奏楽団のサポートを受けながら、さらにプロミュージシャンをゲストに迎え、高度な曲にも挑戦します。

「ジャズは難しい。分からない。」と思われる方々にとっても、存分にお楽しみいただける2日間です。お問い合わせの上、「多目的ホール「おじゃれ」」へお越しください。

## 9月10日(土)、11日(日) 第71回島民大学講座(首都大学と共催)

以下のような内容で、首都大学東京と共催による島民大学講座が行われます。会場は七島信用2階ホール。

日・曜・開始時間	テーマ	講師
9月10日(土) 19:30～21:00	(仮) 自然界に学ぶ表面機能の不思議	諸貴信行
9月11日(日) 13:30～15:00	(仮) 地方史の読み方 一郷土史に親しむために	谷口 央

○講師紹介

・諸貴信行(和対 7 17) システムデザイン学部教授 知能機械システムコース

専門・研究分野: 微細加工と表面機能、精密機械

・谷口 央(タグチ ヒツ) 都市教養学部教授 人文・社会系 国際文化コース 歴史考古学教室

専門・研究分野: 日本近世史。市町村郷土史編纂にも携わる

○参加費: 無料

○問い合わせ先

八丈町文化協会

2-2833

## 第4回八丈島芸能文化祭は、9月18日(土) 夜公演 伝統芸能の継承を「音と踊り」の物語風に構成

島には多くの受け継がれてきた、太鼓、唄、踊りなどの伝統芸能があります。唄や踊りの多くは島外から伝わり、現在も引き継ぎ島民の生活を見守りながら、文化として島を生き生きとさせています。

昔から今へ、変わることなく続けられてきた芸能も、受け継ぐ人の少ない現実があり、若い人たちに伝えていくことが大きな課題だと言われています。

(裏へ続く)